

表 ハンガリーにおける超過利益税の概要(注1)

業種(注2)	新税の内容	背景	年間税収増の見込み
銀行	・前年度の純利息収益に対し11～12%の税率で課税。 ・証券取引手数料の最高額を6,000フォリントから1万フォリントへ引き上げ。	・インフレ、金利の上昇(金利差益の増加、利息収入の増加)。	3,000億フォリント
保険	・課税ベースは変わらず、政府は税率を引き上げ。	・保険加入者の増加とインフレ。	500億フォリント
エネルギー	・炭化水素鉱業税を3倍に引き上げ。 ・精製所など エネルギー生産者の、ブレント原油とウラル原油の間のスプレッドを対象に25%の課税。 ・バイオエタノールは非課税に。	・炭化水素抽出による利益の増加。 ・ブレント原油・ウラル原油の価格差拡大。	3,000億フォリント
小売り	・売上高規模による税率の引き上げ。 1,000億フォリント以上:2.7%から4.1%へ 300億フォリントから1,000億フォリント:0.4%から 1%へ 5億フォリントから300億フォリント:変更なし	・年間売上高が増加。	600億フォリント
通信	・通信事業の売上高に対する課税基準を検討(インターネット、ローミング、ケーブルテレビが対象)。	・新型コロナ禍の影響による在宅者の増加、インターネットや電話の使用時間の増加。	400億フォリント
航空	・航空会社に課税され、搭乗者1人当たり10～15ユーロ。	・パンデミックからのリバウンドによる旅客輸送増加。	300億フォリント
医薬品	・ハンガリーに生産拠点を持たない医薬品の輸入業者を対象に課税。	・パンデミックの影響による、医薬品売上の増加。	200億フォリント
広告	・導入を見合わせていた広告税の再導入。	・デジタルデバイスの活用によるメディア広告の増加。	150億フォリント
合 計			8,000億フォリント以上

(注1) 詳細は今後、公開される見通し。

(注2) 課税対象年は、広告(2023年のみ)を除き、2022～2023年。

(出所) 政府発表および報道などを基にジェトロ作成